



八坂神社の祇園祭・夏祭り 7月10日以降の金・土・日曜日  
諏訪神社の秋祭り 10月第2土曜日を中日とする金・土・日曜日

## 水郷佐原山車会館

〒287-0003 千葉県香取市佐原イ3368(八坂神社境内)  
Tel.0478-52-4104 http://www.city.katori.lg.jp/

- 入館料
- 大人 一般:400円 団体:350円
  - 小・中学生 一般:200円 団体:150円
- ※団体は15名以上が対象となります。

◆伊能忠敬記念館とセットでお得な共通入館券◆  
大人: 800円 小・中学生: 350円

◆年間パスポートのご案内◆  
市内3施設(水郷佐原あやめパーク・水郷佐原山車会館・伊能忠敬記念館)共通の年間パスポートを各施設にて発売中。  
大人:2,000円 小・中学生:1,000円

開館時間

◆9:00~16:30

◆月曜日(国民の祝日は開館)  
◆年末年始

※あやめまつり期間中は無休で開館しています。  
※詳細はホームページをご覧ください。

- 電車利用  
▶東京駅一佐原駅(JR成田線)約1時間50分  
◇JR佐原駅から徒歩約15分
- 車利用  
▶東京方面より 東関東自動車道 佐原香取ICから約10分
- 高速バス利用  
▶東京駅八重洲南口 関鉄グリーンバス「麻生ルート」  
八坂前下車 約1時間30分  
▶東京駅八重洲中央口 京成バス・千葉交通「佐原ルート」  
佐原駅北口下車 約1時間30分  
◇JR佐原駅から徒歩約15分



山車会館利用者は駐車場Pをご利用ください。



## 祭りを彩る 日本一の大人形

佐原の大祭で曳き廻される山車の最上部「大天井」と呼ばれる部分には、大きな飾り物が据えられています。鯉や鷹の藁細工もありますが、多くは神話や歴史上の人物を題材にした大人形で、身の丈5mに及び、山車全体で9m近くにもなります。

その大きさはもちろん、鼠屋福田万吉、三代目原舟月、古川長延、三代目安本亀八、大柴護豊、湯本長太郎、面六などといった名だたる人形師の手による作品であることが「日本一の大人形」最大の特徴です。

古くは、現在の飾り物のように各町内の飾り物が決まったものではなく、手作りのハリボテ人形や、柳などの草木を飾り物としていました。しかし、享保18年(1733)に関戸町が佐原の有力家であった伊能権之丞家から夜着を借り受けて、猿田彦(大天狗)の飾り物を出したところ、これが好評となり、それ以来関戸町は飾り物を猿田彦にしたという記録が残されています。往時の猿田彦の大人形は格別に大きなもので、佐原と利根川を挟んで対岸のまち・潮来からもその姿を見ることができたと伝えられています。その後、各町内も固定の飾り物を出すようになり、祭りの発展の過程で人形師の手による飾り物が据えられるようになったと考えられます。

佐原の大祭の歴史の変遷を表す貴重な文化財として、3階企画展示室に猿田彦の人形が展示されています。

Every big festival float parade through the streets, with a tall figure or doll on its top floor (Ô-tenjō). Some are made of natural materials like rice or barley straw, but many are big lifelike dolls of heroes from Japanese history or folk tales. The height of each doll or figure is 5 meters tall and the total height of the float reaches up to as high as 9 meters. All of the dolls are manufactured by renowned doll-makers in Edo or Tokyo. In old times, the figures were made of paper, bamboo and evergreen leaves. Later, a giant figure of Sarutahiko was produced by Sekido-block in the year 1733. This incident started the advent of big dolls at Sawara Festival. On the third floor, the big head of Sarutahiko is on display which is the invaluable cultural property.



おかげくりん 太田道灌 (上野町)



よつらのみか 経津主命 (元久)



ちのけのりかみ 天鈿女命 (本町)



い 鯉 (八日市橋)



ついでついでのみか 武甕槌命 (西町)



夏祭り 山車10台



みよのぼんぼ 金時山姥 (千町)



いづののみか 伊弉那岐尊 (田町)



たか 鷹 (仁平町)



じん 武 (松町)



すけののみか 菅原道真 (下町)



『佐原の大祭』は、7月10日以降の金・土・日曜日に行われる八坂神社祇園祭と、10月第2土曜日を中日とする3日間に行われる諏訪神社祭りの2つのお祭りの総称をいいます。

### ○佐原・祭りの歴史

History of Sawara Grand Festival

「お江戸見たけりや佐原へござれ 佐原本町 江戸優り」と唄われた小江戸佐原はその財力を背景に佐原の大祭をはじめ、独自の文化が発展しました。また、江戸と深い経済・文化の交流から「江戸」を強く意識し、江戸に優る文化の醸成を目標に掲げ、約300年にわたりその伝統は脈々と現在に受け継がれています。

'If you want to see true Edo, come to the central Sawara superior to Edo'. This song used to be widely sung in Sawara. The financial wealth became a driving force for the development of Sawara's individual culture and Float Festival. And, the economical and cultural ties with Edo (Tokyo) made the people conscious of 'Edo', which stimulated them to raise 'the spirit of Edo-Masari (superior to Edo)'.



## 江戸優り 佐原の大祭

### ○佐原囃子

Sawara-Bayashi (festival music)

佐原囃子独特の情緒的な響きと楽曲の多さは他の祭囃子には類例がなく、佐原の山車行事とともに国の重要無形民俗文化財に指定されています。館内に流れる佐原囃子に耳を傾けて、じっくりと「違い」を感じてみてください。

Sawara-Bayashi's specific emotional sound and varieties of tunes have no other instances in Japan. Sawara-Bayashi and festival events are nationally registered Important Intangible Cultural Property. Listen carefully to Sawara-Bayashi and you can feel its very individual sound of tunes.



平成28年ユネスコ無形文化遺産保護条約第11回政府間委員会において、「佐原の山車行事」を含む33件の「山・鉦・屋台行事」が、「ユネスコ無形文化遺産」に登録されました。「山・鉦・屋台行事」は、地域社会の安泰や災厄防除を願い、地域の人々が一体となり執り行う、各地域の文化の粋をこらした華やかな飾り付けを特徴とする「山・鉦・屋台」の巡行を中心とした祭礼行事です。千葉県内の国指定文化財で世界遺産やユネスコ無形文化遺産などに登録されるのは今回が初めてです。

### ○山車の曲曳き

Acrobatic Turning of the Float The event of turning of the floats is the climax of the festival.

「の字廻し」 Clockwise turning of the float called 'Nonoji-Mawashi' 山車に向かって左前の車輪を軸として筆で「の」の字を書くように山車を数回転させるもので、この軸をずらさずに回転させることが上手とされています。その他にも「そろばん曳き」や「こぼん廻し」などがあります。

The floats rotate several times slowly, tracing a stroke of Hiragana 'の' as the figures on the top floor performs Noh play. Other acrobatic float turnings are 'Soroban-biki (straight dashing like going on beads on an abacus)' and 'Koban-Mawashi (turning ovaly)'.



しんがみ 小楠公 (千町)



じんてんの 神武天皇 (中町)



たけはやすきののみか 建速素盞鳴尊 (下町)



しんげいののみか 鎮西八郎為朝 (上町)



かたのののみか 源頼義 (千町)



たいののみか 大楠公 (東町)



いさのみか 瓊瓊杵尊 (西町)



すけののみか 諏訪大神 (上町)



秋祭り 山車15台



にほんののみか 日本武尊 (比羅町)



うみのかみ 浦嶋太郎 (下町)



うしのかみ 牛天神 (新上町)



じんてんの 仁徳天皇 (南橋町)



みよののみか 源義経 (上町)



すけののみか 小野道風 (新橋町)



しんがみ 桃太郎 (千町)

ユネスコ無形文化遺産登録  
日本遺産認定 | 北総四都市江戸紀行・江戸を感じる北総の町並み |



伝統の美。日本一の大人形山車の実物を展示  
水郷佐原山車会館

※現在曳き廻しなし